



中期経営方針（平成29年－平成33年）

当社は、東北電力株式会社殿(以下東北電力)管内の配電設備を施工する会社として、「安全」「品質」を第一に、東北電力の目的でもある安定かつ効率的な設備工事を行うことを前提に平成16年設立された。特に近年は地域密着型の工事、各種災害対応、特に東日本大震災以降は被災地復興へ対応のなかでインフラ整備を担う企業という自負心を持ちながら、順次社内整備を進めてきた。創立時における当社の役割を認識しつつ、同業他社との競争力確保、電工職の確保、技術レベルの向上および生産性の向上に資するため、社会環境変化に応じたさらなる経営基盤の強化に向けた社内改革を進める必要があることから、中期経営方針を定め、具体的な個別取り組みを加速させるものである。

経営目標

『経営基盤の強化をベースとした技術力向上による東配エブランドの確立』

事業環境の変化

当社の課題認識

経営方針

社会環境
建設業関連

- 1. 内部統制システムの確立**
- 大企業における不正・不祥事の発覚に起因する内部統制システム確立の要請
- 2. 競争環境の変化**
- 同業他社の業績安定化およびポスト対策強化の動き(経営基盤強化の先取)
 - 労務費、資材費の高騰と建設業界における人手不足(就労人口減少)の進展
- 【当社】
- 工量単価に見直しに伴う業績回復の兆し
営業利益の回復による限界利益の一時的な上振れ
 - 直営、協力店とも新規採用確保難が顕在化

当社

- 3. 東北電力市場**
- 【全体】
- 東北電力ブランドの確立「より、そう、ちから」
⇒合わせてグループ企業もブランド展開
- 【電力ネットワーク本部を取り巻く環境の変化】
- *平成28年度中期計画より抜粋
 - ・電力システム改革の進展
小売全面自由化・ライセンス制(平成28年～)
法的分離(平成32年～)

東北電力

- 工事量増加の要因(エネルギー政策)
- ・エネルギー政策に対応した系統増強工事の増(電力ネットワーク本部の課題認識)
- ・設備劣化対策への対応
- ・自治体などによる地域発展の計画・エネルギー利用

*将来工事量が不透明

- 厳しい託送料金規制を踏まえたコスト低減

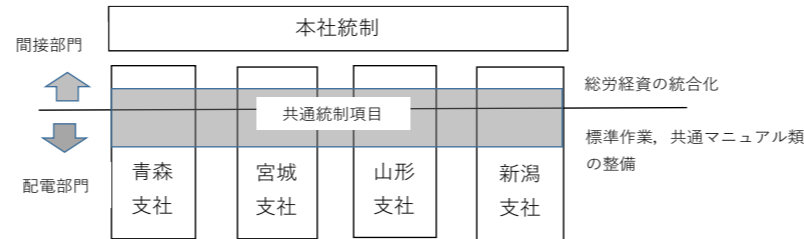
- 災害対応や将来工事量を見据えた施工力の維持確保

取締役の善管注意義務の一環としての内部統制システムの構築は必要。内部統制の徹底のためには、経営理念やコンプライアンスへの意識が極めて重要な要素であり、全社員に対して会社の経営方針として明確な形で表明し、その徹底を図る必要がある。

○統制項目

- ◇統制環境⇒【中期経営計画の策定】
- ◇リスク評価と対応⇒【規程・基準類の整備】【職務権限の見直し】
- ◇組織改革⇒【組織整備】
 - ①本社支社機能強化のニーズ
 - ②建設業法、労働安全衛生法令関係
本社機能の強化と、関係法令に対する統制上の是正

<望ましい組織形態のイメージ>



- 競争環境の進展→競争環境への取組み
- ・労務費、資材費の高騰や同業他社との競争力強化を見据えた低コスト体制の整備強化
- ・全社最適視点に基づく効率的な業務運営体制の構築

- ◇周知徹底⇒【文書管理】
- ◇教育訓練⇒【教育訓練の充実】

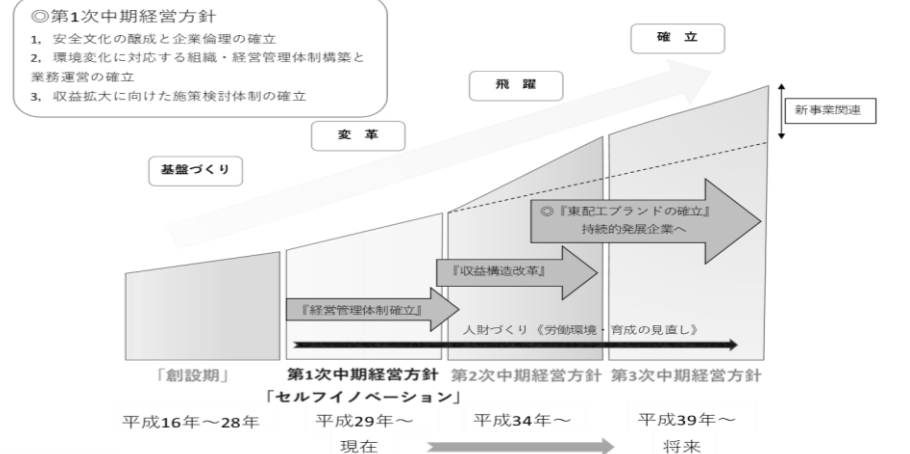
- 現場力強化の必要性

(東北電力のニーズ)
建設業界全般に亘る就労者減少傾向が顕在化していることから、人員・施工体制の確保が必要

○バランス

- (対応する社内方針)
- 経営基盤の強化に伴うさらなる内部留保の必要性

【概念図】



重点方針2 環境変化に対応する組織・経営管理体制構築と業務運営の確立

3. 企業統治（内部統制システム）の確立

- (1) 企業統治への具体的検討
- (2) 本社機能の強化

- ・配電部強化
 - ・間接部門の効率的運用(総務業務の効率化)
 - ・経営戦略としての経理業務、IT方針の内部化、経営会議の実施
- ☆統制項目の推進

- ◎財務シナジー(経営基盤の強化)
- ◎リスクマネジメント
- ・東北電力ニーズへの柔軟な対応
- ・マーケット縮小時、経営資源の効果的運用
- アライアンスによる相乗効果
- 人材と技術の確保

重点方針3 収益拡大に向けた施策検討体制の確立

4. 効率化施策や売上高拡大に向けた具体的施策の展開

- ・決算データに基づく経営指標の策定
- ・統制項目を含めた中期経営計画への反映
- *生産性の向上、機材の適正配置など競争力強化に向けた取組みの加速化など
- 5. マーケット拡大に資する新技術、技能習得の検討
- 6. 人材確保と施工体制の確立
- 女性・若手社員の活躍による総合力の発揮

定量目標：売上高 10,365百万円(平成33年)
率 平成27年ベース 5%UP/5年

東配エブランドの確立

重点方針1 安全文化の醸成と企業倫理の確立

1. 安全、施工品質の向上

- (1) 安全衛生計画に基づく、安全文化の更なる醸成
- (2) 企業価値向上に資する施工品質の向上

2. コンプライアンスの向上

- (1) 企業倫理、技術者倫理醸成に向けた施策の展開
- (2) 業務品質の確保に向けた業務指導体制の強化

ベース